

【数学科のグランドデザイン】

<p>何ができるようになるか ○各教科等で育成する資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的・基本的な知識・技能 ・数学的な事象に対して、論理的、統合的・発展的に考察する力 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力 ・数学を主体的に生活や学習に生かし、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度 		<p>何が身に付いたか ○各教科等の学習評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理法則などを理解し、基本的な知識・技能を身に付けようとしている。 ・数学的な事象に対して、論理的、統合的・発展的に考察している。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現している。 ・数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 	
<p>子供たちの実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心旺盛な生徒が多く、授業内においては自身の思考経過を積極的に他者に伝えようとする生徒が多いが、授業外での復習など、反復練習の質、量に課題があり、知識・技能の習得に差がみられる。 		<p>子供たちの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子供への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問教室などで習熟度の低い生徒に対する学習支援を行う。 ・授業内での見通しをもたせる。 ・スモールステップでの授業を行う。 	
<p>何を学ぶか ○各教科等の教育課程の編成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に問題発見・解決の過程を遂行すること、そして、これを振り返って言語としての数学で表現し、意見の交流や議論などを通して吟味を重ね、さらに洗練させること 		<p>どのように学ぶか ○各教科等の授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者との話し合い活動の時間を多く取り入れる。 ・単元レポートの作成を実施する。 ・ICT教材や立体模型などでの視覚的アプローチにより理解を深める工夫をする。 ・ホワイトボードやChrome bookの活用により自己の考えを他者に発表する機会を設定する。 	
<p>実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材・教具、学習指導案の共有など教師間での連携を通して、常に教師が指導力の向上を図り続ける ・ICT機器、教材・教具の充実 ・習熟度別少人数授業の実施 			
<p>各教科等の特質に応じた「見方・考え方」</p> <p>事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること</p>			